

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町歴史文化館運営検討委員会
- 2 会議日時 令和6年7月3日(水) 15時から15時50分
- 3 開催場所 富士川町歴史文化館塩の華 2階企画展示室
- 4 出席者数 (1) 委員 8名
(2) 事務局 3名
- 5 議題 令和6年度第1回企画展の内容について

6 委員会内容

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 議事
 - ①令和6年度第1回企画展について
 - ②その他
- (4) 閉会

7 発言の内容

- ①令和6年度第1回企画展について

事務局 令和6年度第1回企画展の内容について、資料を用いて説明。

10月27日(日)開催される「山車巡行祭り」にあわせて山車に関する展示を行う。時期については10月上旬～10月31日を予定。

委 員 開始時期については、いつになるか。

事務局 企画展に併せてボランティアガイドを1人増やすことが難しいため、常設展示と掛け持ちで対応していただくことになる。ガイドの負担も考え、10月8日からかどうか。

委員 今年度は学校からの団体見学も多く来ていただいている。その場合、当番のガイドとは別に無償で1人来て来館者の対応をしているのが現状である。そのことも考えると、土日に関しては来館者が多いため、ガイドをプラス1で考えていただかないと、対応が難しいのではないか。

事務局 予算上は可能である。ガイドの皆さんが入れるのであればお願いしたい。

委員 1度ガイドのメンバーにできるかどうか聞いてみて、可能な人がいれば企画展の期間中の土日は3人体制を考えていただきたい。

委員 今回の件に限らず、企画展中は来館者が増えることを想定して3人体制にするのは当然のことだと考える。今後の企画展の際にそれが例になるため、実行していくべきことだと思う。

事務局 了知した。

委員 ガイドが入れない場合は、教育委員会で手伝いや応援に来ることは可能か。

事務局 協力できないということはないが、10月は他の行事も多くあり、難しい状況である。

委員 了知した。それではそのような場合は、人物館の入口は閉めて来館者があれば開けるようにするなど、ガイド内で協力して行うようにしていく。

委員 可能であれば、保存会の正副会長に来て説明してもらおうと、教育委員会やガイドより詳しい内容も知っており良いと思うので、打診していただきたい。

事務局 了知した。先方の都合等踏まえながら検討していく。

委員 町民からボランティアとして募集するのはどうか。

事務局 1つの案として検討する。

委員 図書館には、全国の山車など山車に関する資料が多くある。山車巡行祭りにあわせた企画展を図書館でも実施し、コラボしながらやっていくといいと思う。

事務局 図書館へはすでに話をしており、全国の山車など内容については提案しながら企画していきたい。

委員 講演会などは実施するか。

事務局 まだ案の段階であるが、鯉沢ばやしの演奏を考えている。

委員 ポスター・チラシ等の作成のスケジュールはどのようになっているか。

事務局 本日承認が得られれば、作成に取り掛かる。夏休み明け頃には各学校等へも配布できるよう考えている。

②その他

事務局 今後の企画展について、今年度の企画展については10月の実施となるので、スケジュール的に2回実施するのが難しい。また、1回分の予算しかないため、今年度は1回の実施としたいがどうか。

委員 企画展に関する予算はどの程度か。

事務局 今年度は約200万計上したが調整されて半分となった。できるだけ確保していけるよう努力していく。

委員 了知した。

事務局 今後の企画展について、来年度の検討材料にしていきたいので、案や意見があれば次回の会議までにいただきたい。

委員 事務局が多くの業務ある中で、塩の華の運営もしていくことは大変だと思っている。本委員会において運営、企画をしていきたいと思っているが、どうか。

事務局 委員の皆さんの負担を考えると、あまり頻繁に会議を行うのは難しいと考える。皆さんの中でやっていただけるということであればありがたいところではある。意見を出す場は会議のみではないので、ご連絡いただき、協議が必要な内容についてはその都度招集させていただき、検討していくことが皆さんの負担も少なく良いのではないかと思います。

委員 塩の華の今後のビジョンを示していただきたい。館に常駐するような学芸員を設けて、方向性を示していただき、それにボランティアガイドがついていく、というようなことが必要だと考える。

事務局 研究していく。

委員 企画展の回数については、年1回と定めるのではなく、状況に応じて決めていくのが良いのではないかと。

事務局 了知した。

委員 新聞のイベントコーナーに「歴史文化館塩の華 常設展」と入るが、「歴史文化館塩の華 舟運歴史館・近代人物館」と入れた方が良いのではないかとという声があった。

人物館を見ていく人が少ないが、町内の子どもたちに見てもらえるように、人物館を見るイベントを町内の小中学生に向けて実施をしてはどうか。

「舟運館検定」というようなものを作成し、初級・中級・上級などに分け、子どもから大人まで楽しめる内容にしてはどうか。上級は調べなければ分からない内容にすれば、図書館との相乗効果も図れるのではないかと。

事務局 検討する。

委員 町内の来館者が少なく、アピールする方法など考えていったほうが良いと感じるが、どうか。

事務局 相談、検討させていただきたい。